



嘉良岳海岸のごみを回収する参加者ら＝18日午後

嘉良岳海岸を清掃

八重山農林水産 振興センター | 散乱ごみ大量150袋分回収

県八重山農林水産振興センター主催の2020年度海岸清掃が18日午後、白保嘉良岳海岸で行われ、参加した約150人が海岸線約1.5キロの範囲で150袋分の漂着ごみや投棄ごみを回収した。この清掃活動は年1回実施。美しい海岸景観や貴重なサンゴ礁の保全と背後の農地を守るために、地域住民や企業などと協力して美化活動を行っている。

清掃には県建設業協会八重山支部の会員や市、土地改良区の職員らが参加。午後2時から同4時まで海岸に散乱したペットボトルやビン、発泡スチロール、プラスチック片などの回収、分別作業に当たった。

漂着したとみられるさびついた消火器を拾った市職員男性(51)は「ごみの量が想像以上で驚いている。細かいプラスチックなど分解されないものが多い印象。参加して環境に対する思いを再確認することができた」と話した。

同センターの担当者は「嘉良岳海岸は特にごみが多い。新型コロナウイルスの影響もあるなか、ことしも多くの方に協力いただいた。感謝したい」と語った。